

駒場サイエンス倶楽部

折紙の剛性と柔軟性

舘 知宏 学際科学科

三浦 公亮 東京大学名誉教授

日時 11 月 19 日 (火) 18:10–19:10

場所 16 号館 119・129 室

全学生
歓迎!



折紙は紙を折ることで様々な形を作る伝統的な遊び・創作活動ですが、近年では ORIGAMI として国際的に認知され、数学、科学、工学、建築、芸術、教育、歴史など多様な側面から研究される学際的なテーマです。2014 年 8 月に東京で予定される第六回折紙の科学・数学・教育国際会議（6OSME: 6th International Meeting on Origami in Science, Mathematics, and Education）では、最先端の研究者やアーティストが領域を超えて活発な議論をすることが期待されています。

本講演では、折紙において両立する剛性と柔軟性に着目し、それを可能とする幾何的構造と設計手法、建築・宇宙工学分野への応用について、1950 年代の円筒薄板の座屈問題から、ミウラ折りの宇宙展開構造物、剛体折紙の機構、計算折紙、2010 年代の複合剛体折りセル構造までを紹介します。若手の研究者にヒントとなるような、創造の瞬間の話もします。

